

まるオフィス
とは？

宮城県気仙沼市で東日本大震災からの復興まちづくりをきっかけに生まれた、教育とまちづくりのNPO（非営利組織）です。主に10代の子どもや若者が、地域を舞台に思いっきり学べる仕掛けづくりに取り組んでいます。



チャレンジは「しなきやいけない」もの？

新年、みなさんは何か新しい抱負を掲げましたか？今回のテーマは、ずばり「チャレンジ」。みなさんは、チャレンジはした方がいいと思いますか？それとも、しなくてもいいと思いますか？

「チャレンジしない幸せ」という問い

先日、起業家の後輩と気仙沼で新年会をしました。「まちにチャレンジを増やして、気仙沼をおもしろく豊かにしよう」という時流に対して、彼は意地悪な問いを投げかけます。「チャレンジしなくても幸せなら、それが一番豊かな地域なんじゃないですか？」と。スタートアップ界隈を見渡せば、リスクを取って挑戦した結果、潰れてしまう人もたくさんいます。平穩に、リスクを取らずに生きていける。それもまた、一つの社会の豊かさの形かもしれません。

実は似たような話が、まるオフィスでもありました。スタッフの一人が「周りの移住者や地元の若者が挑戦している姿を見ると、自分もチャレンジしなきゃと思った」と話してくれたことがあるのですが、私はどこか引っかかりを感じました。彼はそれを前向きな文脈で語っていましたが、「しなくちゃいけない」というバイアス（思い込み）がかかるのは長い目で見たら「しんどい」ことです。そこから冗談半分に「チャレンジ・ハラスメント」という言葉まで誕生。まるオフィスには、プライベートでも新しいことに取り組む人が多く、生き活きしてとても素敵なことです。その引っかかりは大事にしたいと思ったのです。

「背のびゾーン」への越境

ただ、それでも私は「チャレンジ」という言葉が大好きです。尊敬する北見靖直さんが、青少年交流の家でワーク作業に臨む学生たちと「ちゃれえんじ！」と大声を出し合う恒例のシーンがあるのですが、不思議と腹の底から力が湧いてきます。そんなポジティブな力がこの言葉には宿っています。

また、私がよく高校生に話すのは「越境」という概念です。心理的な安心安全の領域である「コンフォートゾーン」を一步踏み出し、その外側にある「背のびゾーン（ラーニングゾーン）」へ行けるかどうか。普段しないことをして

みる、出会わない人と会ってみる。それは「小さなリスク」を伴いますが、この二つのゾーンを行ったり来たりすることが、健全な学びには不可欠だと言われています。「やりたいうことが見つからない」という高校生には、私はいつもこう言います。「ファミレスでいつもと違うメニューを頼むとか、普段聴かない音楽を聴くとか、そんな小さな越境から始めてみて」と。

持続可能なチャレンジの正体

改めて考えてみると、チャレンジには種類があるのだと思います。一つは、周囲に影響された「外発的」なもの。もう一つは、内なる好奇心に基づいた「内発的」なもの。学びの入り口として「周りがやっているから」という外発的なきっかけも否定はしません。でも、最終的にその挑戦を持続可能なものにし、人生を豊かにしてくれるのは、やはり後者の「内発的な好奇心」です。許容できるリスクの範囲で、自分の好奇心に従って「ラーニングゾーン」を往復する。みなさんがもしチャレンジをしようとしているなら、それはどんなチャレンジですか？

（独り言の音声メモをもとに、AIアシスタントと共同で執筆しました）



PICK UP

気になる記事はWEBで詳細をチェック！スマホ/タブレットでQRコード読込

PICK UP #1



ワークキャンプはボランティアじゃない？～現場で学生が本当に学んだこと【トークセッション記事】



PICK UP #2



【中学生記事】職場体験で『放課後たんけん』に参加しました！！



PICK UP #3



気仙沼市中学校プロジェクト 探究フェスタ 2025 レポート



PICK UP #4



気仙沼の高校生マイプロジェクト アワード2025 レポート



PICK UP #5



【第三回リベラルアーツ講演会】見えないモノの探究って？～記憶と心から紐解こう～



PICK UP #6



【レポート】仙台で気仙沼出身者に会いたい！2025を開催しました



NEWS

ワークキャンプ情報、更新中！



WEB



note

まるオフィスの情報はここから！



WEB



Instagram



YouTube

YouTube に最新動画をアップしました！



【ズバリ探究活動のコツは？】能登半島の高校生へ気仙沼からメッセージ

マンスリーサポーター まるクルー募集中！

活動へのご支援を毎月定額寄付にて受け付けております (1口1,000円～自動引き落とし)。マンスリーサポーターには、四半期に一度のシーズンレポートと年間レポートをお送りいたします。



シーズンレポート

年間レポート



寄付ページはこちら

